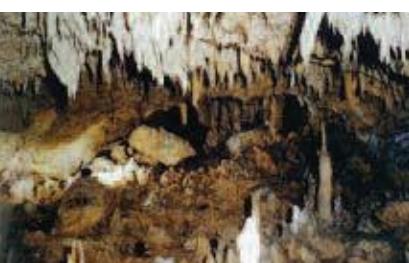


ぎのわんの歴史・文化遺産を歩く! 其の7



△柱穴から復元した掘立柱建物跡



△ケレンケレンガマの洞穴内のようにす



△海から見る戦前の宜野湾市

問合せ:文化課 ☎893-4430

△柱穴から復元した掘立柱建物跡
△ケレンケレンガマの洞穴内のようにす
△海から見る戦前の宜野湾市

伊佐グスクと挾所 約二千年前の地面を掘りくぼめた豊穴住居跡のほかに、伊佐区在の古老が伝える伊佐グスクがあります。実際に、その近辺からグスク時代初期の約八百年前の掘立小屋のような母屋と倉庫らしい建物跡が発掘され、また挾所を意味する「いざ獄」原と刻まれた約三百年前の測量石も見つかっています。伊佐の草分けの地で

△柱穴から復元した掘立柱建物跡
△ケレンケレンガマの洞穴内のようにす
△海から見る戦前の宜野湾市

伊佐グスクと挾所 その場所には、落・墓地・畑・道の跡などがきれいに残り、市民の方々の土地利用とその移り変わりが知られる重要な遺跡です。

△柱穴から復元した掘立柱建物跡
△ケレンケレンガマの洞穴内のようにす
△海から見る戦前の宜野湾市

伊佐グスクと挾所 年前から戦前・沖縄戦までの集落・墓地・畑・道の跡などがきれいに残り、市民の方々の土地利用とその移り変わりが知られる重要な遺跡です。

はじめに

普天

しうか。

沖縄戦の避難壕

また、去る六十八

年前の沖縄戦のときに、伊佐の区民が日米両軍の戦禍を逃れたケレンケレンガマやアカガマなどの避難壕も残され、奥深い洞穴に身をひそめ、鍾乳石から滴り落ちる水にのどをうるおした当時の生活がしのばれる場所となっています。

ぎのわんの歴史・文化遺産

現在、市

教育委員会では、長い歴史を経て育まれてきた市内にあるさまざまな文化財を、その周辺環境まで含めて『ぎのわんの歴史・文化遺産』と考え、宇宜野サンダンカは昔から沖縄の三大名花の一つとして人々に愛されてきました。沖縄の三大名花とはオオゴチヨウ、デイゴ、サンダンカの三つの花のことです。

アカネ科サンダンカ属の総称で常緑少低木の美しい熱帯花木で、花の色は白色から紅色、それに黄色があり、また葉の大きさなどさまざまあります。主に切り花として用いられています。サンダンカにはいろいろな種類があり、近年では小葉のサンダンカが、主に生垣など緑化木として利用されています。

サンダンカの開花期は5月と11月があることをご存知でしょうか。
今回は宜野湾市の市花木であるサンダンカをご紹介します。

サンダンカは市花木に制定されています。サンダンカは市花木に制定されることもあり、市内のいろんな場所で見ることができます。最近は寒さも和らぎ、過ごしやすい季節になつてきました。サンダンカを探しに市内を散策してみてはいかがでしょうか。



市の花木 サンダンカ

『宜野湾市史』への問合せ
文化課 市史編集係(市立博物館内)
☎870-9317



喜友名の道路沿いに咲いているサンダンカ

茶ぐわーゆんたく

109

市のシンボル
サンダンカ

みなさんは宜野湾市にも市花木(※)があることをご存知でしょうか。

サンダンカの開花期は5月と11月が最盛期ですが、周年開花する花のため、一年を通して楽しむことができます。

※宜野湾市では、市花(菊)、市木(リュウキュウコクタン)、市花木(サンダンカ)が市のシンボルとして親しまれています。

